

部局名	消防本部	所属名	警防課	所属長名	山崎 春男	電 話	459-2441
-----	------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3372	事務事業名称	車両整備事業					短縮コード	経常		臨時	3372
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	03	消防施設費
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務			根拠法令等		消防法、消防力の基準、道路運送車両法						
☐ その他												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
消防法，消防力の基準(昭和36年消防庁告示2号・平成12年1月20日消防庁告示第1号改正)に基づいて，各種の災害に対応できる車両を整備するために開始する。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
近年多様化する各種災害に対し、最新の車両及び資機材を更新計画に基づいて整備を図る。また、人口増加に伴い救急自動車の出動件数及び走行距離数の増加を考慮し、救急自動車の更新年数の短縮も必要である。					大項目（節）	01	市民の安全					
					中 項 目	02	消防					
					小項目（施策）	02	消防体制の充実					
					細 項 目	02	消防車両等の整備					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		昭和41年4月 ～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	(1)消防車両の購入 (2)救急車・救助工作車の購入 (3)マイクロバス等その他車両の購入							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 高規格救急自動車の更新 はしご付消防自動車（38m級）の更新							
	※平成20年度に計画していること： 事業（更新車両）なし							
意図 （何を狙っているのか）	近年多様化する各種災害に対し、最新の車両及び資機材を更新計画に基づいて整備することにより、市民の安心・安全の確保を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	消防車両	台数	23	23	23	23	
	指標2	救急車・救助工作車台数	台数	7	7	7	7	
	指標3	マイクロバス等その他の車両	台数	5	5	5	5	
活動指標	指標1	消防車両購入台数	台数	0	1	1	0	
	指標2	救急車・救助工作車購入台数	台数	2	1	1	0	
	指標3	マイクロバス等その他の車両	台数	0	0	0	0	
成果指標	指標1	消防車両基準数／現有数	比率	100	100	100	100	
	指標2	高規格救急車・救助工作車台数の基準数／現有数	比率	75	75	75	75	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3372	事務事業名称	車両整備事業				所属名	警防課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		「消防力の整備指針」に基づき,消防自動車・救急自動車等を配置しており、今後、これらの車両の整備及び更新を継続する。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			「消防力の整備指針」に基づき,消防自動車・救急自動車等を配置しており、今後、これらの車両の整備及び更新を継続する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
出動件数が年々増加及び走行距離が増大しているので、高規格救急自動車等のエンジンや車体の老朽化及び故障が多いので、車両更新計画の変更が必要である。									

所属長コメント	近年の複雑多様化する災害に対し、最新の車両及び資機材等の整備を図る。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									